



Habisnya musim bunga di hutan / The End of Spring in the Rain Forest
多雨林での春の終わり

2018-2020

image : 19.5 x 39.3 cm / frame: 34.5 x 54.1 cm
acrylic, watercolor, color pencil, pen, gold ink on paper

紙にアクリル、水彩、色鉛筆、ペン、金色のインク
SS-D-20-01



HB (Hevea Brasiliensis) -collaborated with Siddra
HB (パラゴムのキ) -シドラとのコレボレーション

2021

image: 25.0 x 19.5 cm / frame: 39.9 x 34.5 cm

Kesumba ink, water color, graphite on paper
紙にベニノキの果汁、水彩、グラファイト

SS-D-21-01



UBI (Tapioca/Cassava Plant) -collaborated with Siddra
UBI (タピオカ/キャッサバ) -シドラとのコレボレーション

2021

image: 25.0 x 19.5 cm / frame: 39.9 x 34.5 cm

Kesumba ink, water color, graphite on paper
紙にベニノキの果汁、水彩、グラファイト

SS-D-21-02



GETAH (Rubber Plant) -collaborated with Siddra
GETAH (ゴムの木) -シドラとのコレボレーション

2021

image: 25.0 x 19.5 cm / frame: 39.9 x 34.5 cm

Kesumba ink, water color, graphite on paper
紙にベニノキの果汁、水彩、グラファイト

SS-D-21-03



「黄金半島」とは、古代ローマの学者クラウディオ
ス・プトレマイオスが名付けたマレー半島の名称。そし
てプトレマイオスはこの地を世界で最も金が採掘できる
場所とした。マレー半島はかつて世界にとって金の源で
あり、また、最古の多雨林を保有する地であった。シュ
ンによれば「マレーシアの貴重な史実は、赤道に降る雨
のようだ。一年中同じ季節が巡り、それはライフ・サー
クルの中のひとつの物語に過ぎない」

Rain Forest of the Chersonesus Aurea (Kalimantan)
黄金半島の多雨林（カリマンタン）

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, old pen, graphite, stamp on paper
紙にアクリル、古いペン、グラファイト、スタンプ

SS-D-21-04



Rain Forest of the Chersonesus Aurea (Kelantan)
黄金半島の多雨林（クランタン島）

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, old pen, graphite, stamp on paper

紙にアクリル、古いペン、グラファイト、スタンプ

SS-D-21-05



Forest of the Chersonesus Aurea (Banjaran Titiwangsa)
黄金半島の多雨林（ティティワングサ山脈）

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, old pen, graphite, stamp on paper

紙にアクリル、古いペン、グラファイト、スタンプ

SS-D-21-06



Forest of the Chersonesus Aurea (Gunung Ledang)
黄金半島の多雨林（レダン山）

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, old pen, graphite, stamp on paper

紙にアクリル、古いペン、グラファイト、スタンプ

SS-D-21-07



Forest of the Chersonesus Aurea (Pahang)
黄金半島の多雨林 (パハン州)

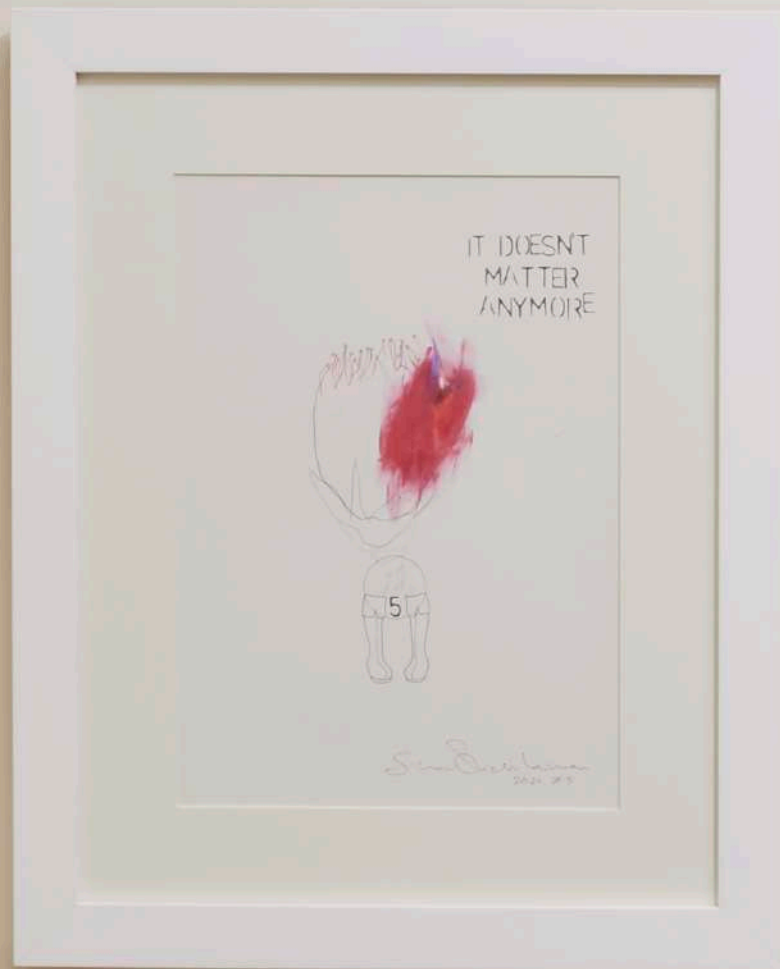
2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, old pen, graphite, stamp on paper
紙にアクリル、古いペン、グラファイト、スタンプ

SS-D-21-08

TOMIO KOYAMA GALLERY



2年に及ぶCOVID-19のパンデミックと続くロックダウンの中、シュシは終わりのない不安な日々直面し、癒しを求めている。そのような時、1955年のドクメンタに影響を及ぼしたフラワー・ショーについての話を聞いたという。戦後間もないカッセルでは、大変なダメージの最中にあったにも関わらずフラワー・ショーは開催され、癒しの手段として重要な役割を果たした。この話にヒントを得たシュシは、ロックダウン中に本シリーズを制作することで、アーティストとして自由を制限されることの憂鬱を癒した。

It Doesn't Matter Anymore # 5
それはもう、どうでもいい #5

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, color pencil on paper
紙にアクリル、色鉛筆

SS-D-21-09

TOMIO KOYAMA GALLERY



It Doesn't Matter Anymore # 7
それはもう、どうでもいい #7

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, color pencil on paper
紙にアクリル、色鉛筆

SS-D-21-10

TOMIO KOYAMA GALLERY



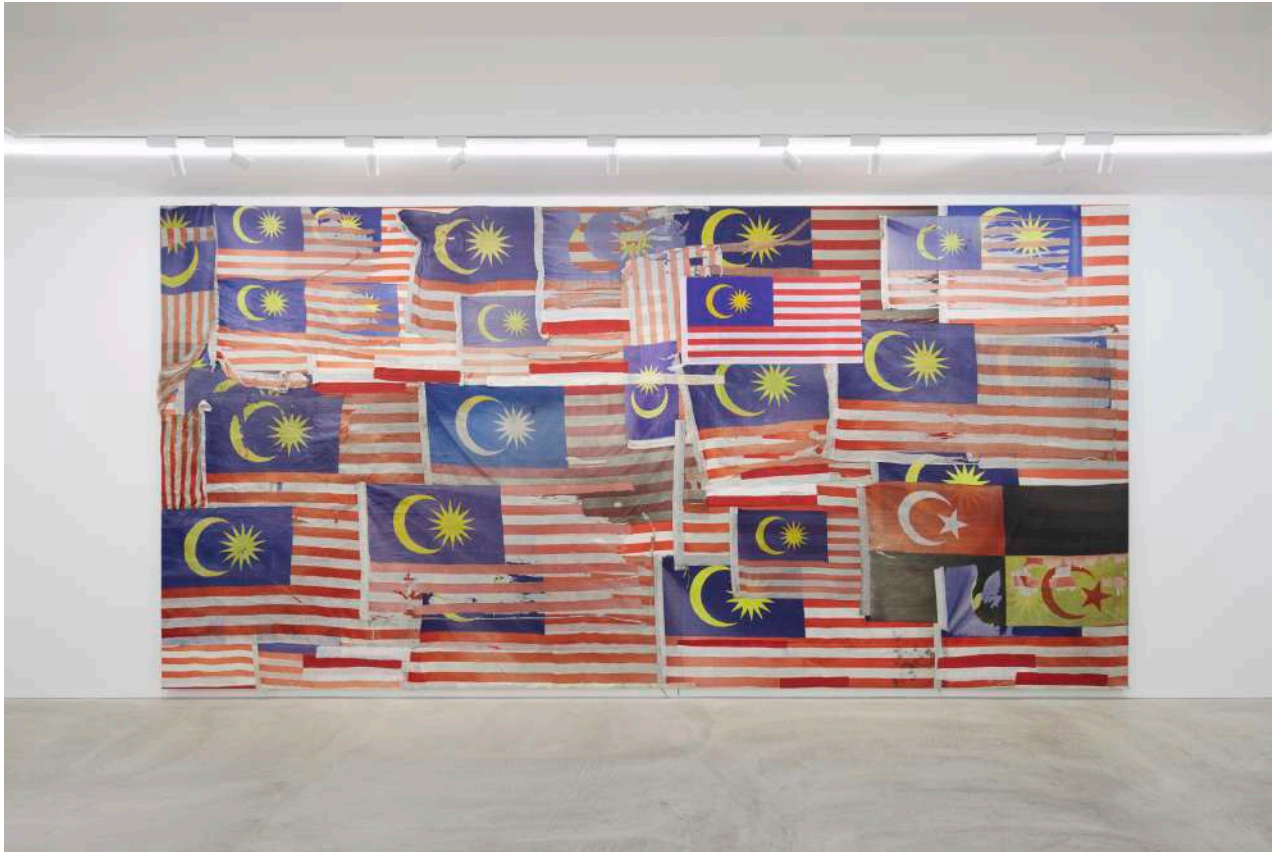
It Doesn't Matter Anymore # 9
それはもう、どうでもいい #9

2021

image: 20.5 x 29.0 cm / frame: 35.4 x 44.0 cm

acrylic, color pencil on paper
紙にアクリル、色鉛筆

SS-D-21-11



本作は2021年8月31日から9月16日の間に、シュシが各家庭を回り新しい旗と交換に貰い受けた旗（マレーシアと、シュシの生まれ故郷、ムアールのもの）をキャンバスに貼り合わせて制作された。同シリーズの別の作品で彼女は旗を交換することについて「それは尊敬を表す行為であり、私は政治的な言及をせずに愛国的なことをしたかったのだ。」と語っている。本作は彼女が愛する故郷、ムアールへのオマージュであり、また、コロナ禍で起きた数々の悲劇を「失われたムー大陸（ジェームズ・チャーチワード著、1931年）」に重ねた運命にまつわる予言ともいえる。

※8月31日はナショナル・デイ（1957年マラヤ連邦がイギリスから独立した日を祝うマレーシアの祝日）

※9月16日マレーシア・デイ（1963年にサバ州、サラワク州、シンガポールがイギリスから独立し、マラヤ連邦に加わって「マレーシア」という国ができた日を祝うマレーシアの祝日）

Baik, Buruk Bersama (The Lost Continent of Muo)
善かれ悪しかれ（失われたムアール大陸）

2021

300 x 600 cm

Collection of salvage Malaysia & Muar flags in the duration of 31st August-16th
September 2021

2021年8月31日から9月16日の間に回収したマレーシアとムアールの旗

SS-Pa-21-01

TOMIO KOYAMA GALLERY



小山登美夫ギャラリー、シンガポールでの個展（2013年）以降、シュシはゴムの樹液を素材として使用ようになった。彼女の父はラバー・タッパーであったため、ゴムの木農園は幼い彼女の遊び場だった。

＊ Rubber Tapper（ラバー・タッパー）...木に穴をあけ、ゴムの樹液を集める人。

現在、彼女とMAIXが所有し保護しているペラ州のジャングルには、60年代に植樹されたゴムの木がある。この木の樹種は「Deli」というものだが、それはイギリス人の植物学者、Ridleyから来ている。Ridleyはマレー半島にゴムの木の植樹や、樹液を取る方法を促進した人物として知られる。Ridleyはシュシたちのジャングルがあるペラ州に、1877年イギリスのキュー・ガーデンからシンガポールを経由して持ち込んだ樹種を植えている。MAIX、このゴムの木の調査や発展のための活動のためにジャングルを保護している。

本作は、現代のエコシステムを描いている。自然は常に静かに人間の愚かな営みを見つめているが、地球にとって、人間は典型的な黒い菌である。

World Map 2021 (the Fungus Earth)
世界地図 2021（菌の地球）

2021

96.0 x 96.0 cm

abandon rubber milk technique on canvas
キャンバスに屋外で製作し長期放置したゴムの樹液

SS-Pa-21-03



2017年横浜トリエンナーレ参加した当時ガラパゴス諸島に興味を引かれ始めたシュシは、その頃からチャールズ・ダーウィンの顔を描くようになった（ダーウィンはガラパゴス諸島で進化論の着想を得たとも言われている）。一緒に描かれているのはシュシの故郷、ムアールに流れる川に住むムツゴロウであり、それらもまた、ダーウィンの残したレガシー（遺物）と同じように長らく生き残ってきた魚である。

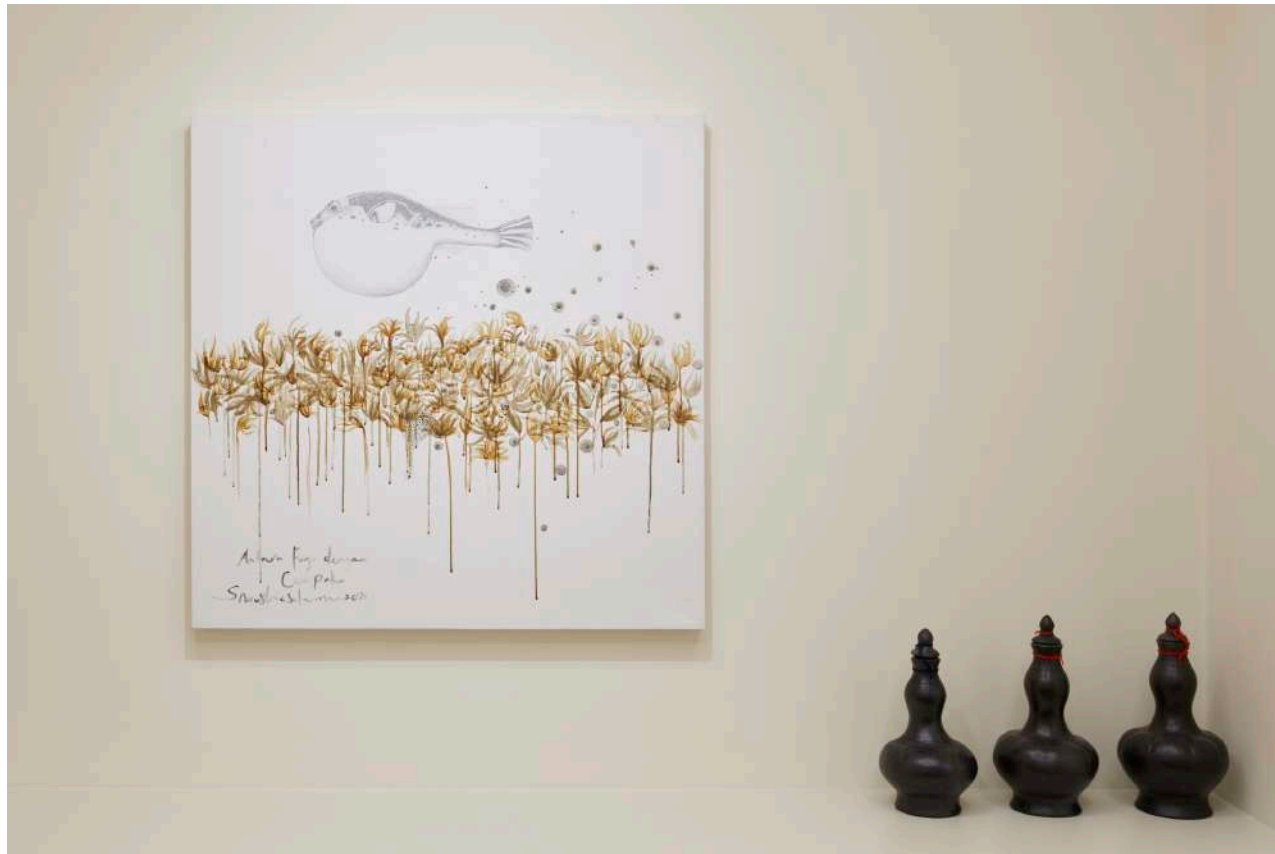
Khatulistiwa, Darwin, Rubber & the Mudskippers
赤道、ダーウィン、ゴムの木 & ムツゴロウ

2021

81.0 x 81.0 cm

Rubber milk indoor technique, pen, charcoal on canvas
キャンバスに屋内で製作し乾燥したゴムの樹液、ペン、木炭

SS-Pa-21-04



日本と東南アジアは同じ古代人の流れを汲むと信じる
シュシは、毒を持つ日本の魚フグと、かつてはその魅惑
的な香りから神にのみ捧げられた東南アジアの植物、
チャンパカ（金香木）を題材とした神話を作った。

「美しくも奇妙なカップルの話である。彼らは、その魅
力的な匂いと味によって人間に害を与え、土地と海の神
の呪いを受けている、と非難された。彼らの愛は、不思議な癒しの力を持つ藍色の卵を生み出したが、彼らの
存在は人間の好奇心と嫉妬を引き起こした。しかしやが
て彼らはそれが呪いではないことに気づいた。それは呪
いではなく、土地と海の神からの贈り物だったのだ。そ
して、王と神官は、藍色の子供が生まれないように夫婦
を海と陸に分け、藍色の卵は人間には禁じられた。」

Fugu & Cempaka (the Forbidden Husband & Wife)
フグ & チャンパカ（禁じられた夫と妻）

2021

95.8 x 96.0 cm

Yokohama soil, fruit ink, graphite on canvas
キャンバスに横浜の土、果汁、グラファイト

SS-Pa-21-02



Hutan Hujan Khatulistiwa / Rain Forest of the Equator
赤道の多雨林

2021

38.2 x 76.0 cm

acrylic, charcoal, soil and dots earth worms' soil on canvas
キャンバスにアクリル、木炭、土、ミミズの土の点描

SS-Pa-21-07



インドネシアのアート・コレクティブ、ルアンルパが、アジア出身者で初めて次回ドクメンタ（2022年ドイツ、カッセルで開催される芸術祭）の芸術監督に就任したことを受け、ドイツで生まれた「ルアン」とインドネシアで生まれた「ルパ」という架空の双子の物語を内包する本作を制作した。スンダランド（最終氷期の頃、東南アジアにあった広大な平野。ここから人類は移住のための「航海」を経験することになったともいわれる）から古代の人々が世界地図に印をつけるように漕ぎ出していった姿とルアンルパとを重ね合わせ、シュシは断続的に地図の上に点を描いていった。「ルアン」は直感的に、「ルパ」は意図的に点を打つのを止めている。

Wrapping paper for Ruang & Rupa (Diptych)
ルアン & ルパの包装紙 (2点組)

2021

each: 49.7 x 69.8 cm / frame each: 53.0 x 73.1 cm

Dots with earth worms' soil on wrapping papers
包装紙にミミズの土の点描

SS-D-21-12

TOMIO KOYAMA GALLERY



シュシの子供時代において重要な要素であるゴムの樹液をスプラッシュした作品。今は亡き彼女の父親はラバー・タッパー（木に穴をあけ、ゴムの樹液を集める人）だったが、シュシの幼少期はゴムの木の森が遊び場だった。

イスマイル...シュシの友人であり建築家。森にまつわる様々なアイデアを一緒に実験している。「Labu Sayong」美術館のヴィジュアル・イメージも彼が製作した。

Ismail (the Architect)
イスマイル（建築家）

2020

61.2 x 51.0 cm

Rubber milk indoor technique, kesumba ink on canvas
キャンバスに屋内で製作し乾燥したゴムの樹液、ベニノキの果汁

SS-Pa-20-01

TOMIO KOYAMA GALLERY



Aida (the Anthropologist)
アイダ (人類学者)

2020

60.8 x 50.9 cm

Rubber milk indoor technique on canvas
キャンバスに屋内で製作し乾燥したゴムの樹液

SS-Pa-20-02

TOMIO KOYAMA GALLERY



原題にある「Ikan Sepat」は、東南アジアでよく見られ、シュシが子供時代の思い出を想起する魚。エラから長い一本の毛のようなヒゲがあることで知られる。
2013年から定期的に滞在している広島県尾道/光明寺は、シュシにとって訪れるたびに「子供の時にみた夢や感情に似ている」、説明不可能な懐かしさが込み上げる場所だという。

Ikan Sepat di Komyoji
光明寺の淡水魚

2021

61.0 x 51.0 cm / frame: 64.5 x 54.4 cm

Abandon rubber milk technique, Siddra House kawara pigment, pen, dots earth worms' soil on canvas キャンバスに屋外で製作し長期放置したゴムの樹液、シドラ・ハウスの瓦から採取した顔料、ペン、ミミズの土の点描

SS-Pa-21-05



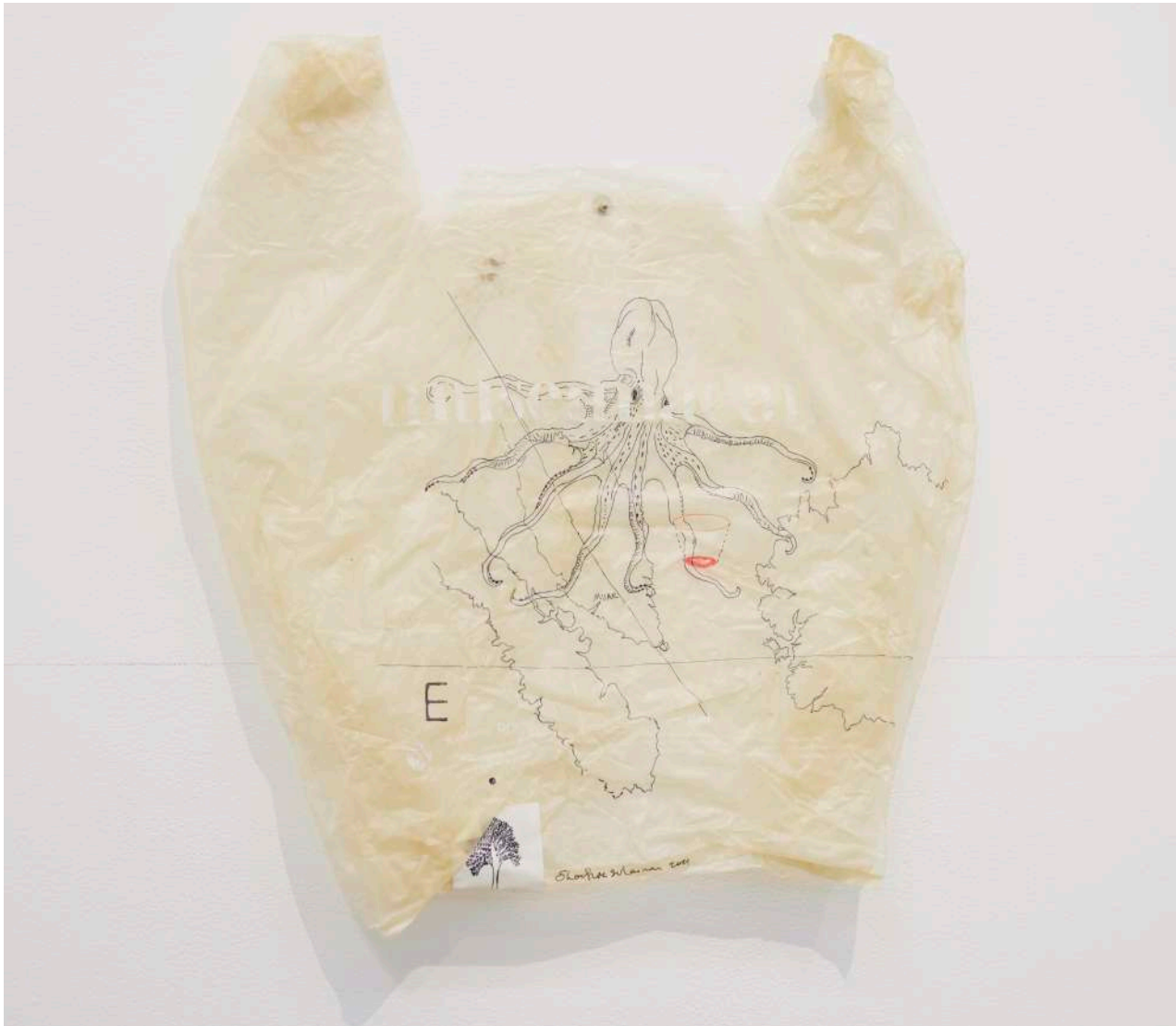
Hutan Hujan / Rain Forest
多雨林

2021

40.7 x 50.7 cm / frame: 44.2 x 54.3 cm

acrylic, charcoal, soil and dots earth worms' soil on canvas
キャンバスにアクリル、木炭、土、ミミズの土の点描

SS-Pa-21-06



Museum Macanのレジ袋にはタピオカが使われている。タピオカは古代から東南アジアにおける主食であり、最も重要な植物である。Museum Macan (Museum of Modern and Contemporary Art in Nusantaraの略/ヌサンタラ近現代美術館)の「Macan」はインドネシア語で虎を意味する。虎はMAIXが所属するジャングルに生息しており、映像作品「Tu Harimau / That's the Tiger」ではそのジャングルを歩く案内人が虎にまつわる言い伝えを語っている。

Museum MACANでシュシは2019年に子どものためのスペース（Children's Art Space）でインスタレーション「Main Getah/Rubberscape」を制作している。ゴムの木をテーマに、葉を敷き詰め、丘や遊び道具を作るなどして幻想的な異空間を創出した。

Biodegradable Mystical Reality 生分解可能な神秘的現実

2021

44.0 x 41.0 cm

pen ink on organic plastic bag (Museum Macan)
オーガニック・プラスチック袋にペン (Museum Macan)

SS-S-21-01



SEA Object #1
海 (South East Asia 東南アジア) のオブジェ #1

2021

10.2 x 23.5 cm

found plastic container, pen, glass paper
ファウンド・プラスチック容器、ペン、透明ペーパー

SS-S-21-02



ナショナル・ギャラリー・シンガポールのキュレーターShabbir Mustafaと、シンガポール美術館キュレーターAhmad Mashadiに捧げられた作品。シュシにとって、彼らは東南アジアを現代に合わせて再マッピング（re-mapped）した強い王/キュレーターである。水牛の一角には金で「S. Mus」、織物には果汁で点描やシンガポールの地図と共に「Ahmad. M」と記している。

Raja Tandok Satu / King of One Horn
一角の王

2021

30.0 x 34.0 x d.6.5 cm

Gold marker pen and water buffalo horn
金のマーカーペンと水牛の角

SS-S-21-03



Raja Mengkuang Layu / King of Withering Mengkuang
萎れたパンダナスの王

2021

32.0 x 57.0 cm

Fruit ink, pen, pencil color on weaving mat
織物に果汁、ペン、色鉛筆

SS-S-21-08

TOMIO KOYAMA GALLERY



木彫の3点はシュシそれぞれインドネシアのパダン山、マレーシアのレダン山とジェライ山を表わす。マレーシアの山2つには階段の廃材にプトレマイオス図（古代ローマの学者クラウディオス・プトレマイオスが150年頃に書いた著書『地理学（ゲオグラフィア）』の記述を元にして作られた世界地図）が描かれている。柱の廃材を用いて制作された「パダン山」は2014年に2万年前の巨石ピラミッドとして発掘されたグヌンパダン遺跡。

Gunung Padang / Mount Padang
パダン山

2021

36.0 x 17.5 x 18.5 cm

Fumigated rotten wooden pillar and pen ink
燻蒸された古い柱にペン

SS-S-21-04



*Gunung Ledang/ Mount Ledang – a map by Sebastian Munster,
Tabula Asiae XI, Basel, 1542*
レダン山 -ゼバスティアン・ミュンスターによる地図、*Tabula Asiae*
XI、バーゼル、1542

2021

30.3 x 43.0 x d.3.3 cm

Fumigated rotten wooden steps and pen ink
燻蒸された古い階段にペン

SS-S-21-05



*Gunung Jerai/ Mount Jerai – a map by Girolamo Ruscelli, Tabula Asiae
XI, Venice, 1564*
ジェライ山 - ジローラモ・ルシェッリによる地図、*Tabula Asiae XI*、
ベニス、1564

2021

30.3 x 42.8 x d.3.5 cm

Fumigated rotten wooden steps and pen ink
燻蒸された古い階段にペン

SS-S-21-06



テミール族（マレー半島の先住民族）の長、アトックが集め束ねた籐（とう）の結び目にシュシが赤いプラスチック袋を重ねた本作は、海と陸、花とビニール袋、という二項対立を、軽やかに赤道を跳ねる三匹の魚に見立てて表している。題名は娘の名前（Melati、ジャスミンの花）にちなんで付けられた。

Rattan Fishes of Melati Family
ジャスミン一家の籐の魚

2021

50 x 90 cm

Rattan ropes, and red plastic bags
籐のロープ、赤いプラスチック・バッグ

SS-S-21-07



テミール族のアランという女性が制作した11個の籠に、東南アジアの古い国名を書いている。Po Niはブルネイ、Dwipantaraはインドネシア、Champaはラオス、ベトナム、カンボジアの一部、Sabanaはシンガポール、Suvarabhumiはマレー半島など。本作はシュシにとって東南アジアの「地図」といえる。

Serumpun Bakul Tenggara / SEA Baskets
東南アジアの籠

2021

Mengkuang leaves, rattan (Technique: Traditional Temiar Tribe weaving, Made by Alang of Takong Village, Perak)
パンダナスの葉、籐（伝統的なテミール族の織り技法、ペラ州タコン村のア

SS-S-21-09

TOMIO KOYAMA GALLERY



シュシにとってオーストラリアは古代の赤道の一部であり、「サフル（オーストラリアの古代の名称）とスンダ（東南アジアの古代の名称）は「太陽」と「雨」の間に生まれた姉妹である」。

タイトルにあるシャーロット・デイはMUMA（モナシュ大学美術館、メルボルン、オーストラリア）の学芸員で、彼女はMAIXが参加した2021年のグループ展「Tree Story」をキュレーションしている。シュシは2008年にメルボルンのGertrude Contemporary Art Spaceでのレジデンス・プログラムに参加しており、その際に重要な資料として「A Short Ride in a Fast Machine: Gertrude Contemporary Art Spaces 1985-2005」という書籍を貰い受けていた。そして2021年3月、ふとその書籍を手にとった時「シャーロット・デイ編集」という文字を発見した。シュシはその巡り合わせを喜び、本作を制作した。

Charlotte Day of Sahul
オーストラリア大陸のシャーロット・デイ

2021

38.5 x 29.0 cm

Fruit ink dots, pencil color on archive music book
アーカイブされた楽譜に果汁の点描、色鉛筆

SS-S-21-10



Shiro Murata Rose (the Fake Migration)
シロウ・ムラタのバラ（フェイク・マイグレーション 偽りの移住）

2021

29.0 x 34.0 cm / frame: 49.7 x 54.8 cm

Shiro Murata dried rose, Siddra House kawara pigment on Fedex Box

Fedexの箱に乾燥した薔薇「シロウムラタ」、シドラ・ハウスの瓦から採取し

SS-S-21-11